

全司法労働組合青年協議会発行「時の窓は、青年みんなに配りましょう」



ときのまど

時の窓

No.231



【青年協HP】
※時の窓バック
ナンバー掲載



青年協議会の
紹介動画
※新採用職員向け

青年協第4回常任委員会 & 最高裁交渉

青年の理想・要求実現に向けた行動へ

青年協は、5月28日～30日に第4回常任委員会と引き続き最高裁交渉を実施しました。第4回常任委員会では、次年度の運動方針案の討議、青年協統一要求書及び統一異動要求書の確立等を行いました。交渉には、青年協役員とオブザーバーの合計8人が出席し、青年の厳しい生活実態や職場の実情、実態等を訴え、当局を追及しました。

活動の振り返りと来年の活動方針を議論

運動方針案の討議では、1年間の運動を振り返り、次の1年間のとりくみ案について話し合いました。青年協の次の1年間の活動は、青年協第32回定期総会の決議で決まります。

定期総会では、青年協が作成した議案書に基づき、青年協や各青年組織の1年間の活動を振り返り、次年度の活動方針について話し合い、最後に向こう1年間の運動方針について決議します。

興味があるところから議案書に目を通していただき、代議員・オブザーバーの方には定期総会で活発な話し合いをしていただきたいと思います。

友好祭典は1年延期に 定期総会ではできる限り集合を

今年8月に予定していた全国友好祭典については、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつありますが、全国各地から大手を振って青年を送り出してもらえそうな状況とは言い難いことから、1年間延期することとしました。

もっとも、定期総会については、オンラインでも対応できるようにする予定ですが、青年同士のつながりを維持する観点から、できる限り集合での出席を求めて開催します（新潟県の越後湯沢）。

総会後にはプチ交流会も計画しており、そば打ちなどができる体験工房で交流を深める予定です。青年協から集まれる雰囲気づくりを行っていきます。



常任委員会の様子



最高裁交渉の様子



ピック
ポストをイ
メージした
一人一言要
求

常識を打ち破るような発想で青年層の要求 実現を目指し「一人一言要求」を提出

今年度の「一人一言要求」は、裁判所における今までの常識を打ち破るような発想で青年層の要求実現を目指し、その想いを、野球界の常識を打ち破る「ピックポスト」こと新庄剛志氏をモチーフに表現しました。

「一人一言要求」は、交渉に先立ち、最高裁当局に提出し、青年一人ひとりの要求が丁寧に扱われていることを実感しました。

交渉では、賃金・諸手当の改善、休暇等の権利が取得しやすい職場環境整備、異動要求の早期実現、異動希望者の意向・家庭事情を尊重した異動計画の策定、人事評価の評価者能力の向上、適正な人員補充・配置、ただ働き残業根絶、パワハラ防止、健康診断の充実、宿舍の詳細な情報提供等を要求しました。

秋以降も、働きやすい職場環境の実現に向け、とりくんでいきます。青年部役員を通じて、各職場からも、要求や困っていること、最高裁の回答とは異なる職場の実情等をお寄せください。

※交渉の詳細は青年協発行のNetwork 184をご覧ください。

全国オンライン交流会2022

ゲームを通じて青年同士が交流を深める！

青年協主催の全国オンライン交流会が行われ（6/4開催）、22名の青年が集まりオンライン上で交流を深めました。交流会の内容と参加者の声をご紹介します！！

■自分の価値観を考える 価値観平均ゲーム

今回の青年協レクはオンライン形式で「価値観平均ゲーム」というものを行いました。ルールは各班に分かれて、いろいろなお題に自分の価値観を答えてもらい、全員の回答の中から平均値を集計し、1番平均値に近い数値を答えた人が真の平均王になれるというゲームです。

各回答の中で最も大きい数値と小さい数値を回答した人にはインタビューを行い、なぜその数値になったのか答えてもらうと、意外な理由や驚きの理由があり、班の皆が「えーっ！笑」と思わず笑ってしまうような場面も多くありました。



初めは初対面の方も多く、緊張した雰囲気がありましたが、ゲームを通じて自然と会話が増え、青年の皆が仲良く楽しめた会になったと思います。コロナ禍であっても、こうしたオンライン形式で青年同士が交流を深められることは良いことですね。

（青年協常任委員（四国地区担当） 泰田 優真）

■同世代の仲間とちょっと話したい！ フリートーク

価値観平均ゲームの後は、5人程度のグループに分かれ、フリートークの時間を設けました。短い時間ではありましたが、なかなか一堂に会する機会が少ない昨今、各地域から楽しいお話を色々聞かせてもらいました。庁舎の冷房はちゃんと効いているか、コロナ禍で各地とも観光地の人出が減っていたが最近では増えてきているか、新しくひとり暮らしを始めた人の近況などなど。個人的には、九州や中国が庁舎内が暑いという話をしている中、北海道はまだ寒いと聞いて驚きました。

どうしても時間が限られていたので、もっとお話したかった！という気持ちも残ってしまいましたが、やっぱり同世代の仲間たちとお喋りできるのは楽しいなと改めて実感できる機会になりました。

（青年協常任委員（中国地区担当） 吉川 美穂）

S-1グランプリを開催中！

ユーモアと風刺のセンスあふれる川柳を大募集

「S-1グランプリ」とは、青年組合員が考えた川柳の最優秀賞作品を決める大会です。

※ S=川柳、青年、裁判所の頭文字

川柳は俳句と違って、日頃の想いを五・七・五の十七音で表すだけで、季語などの制約がないのが特徴です。日常で起きている何気ない出来事をユーモアと風刺のセンスで表現した作品を大募集します。

●テーマ

- ① 私の要求
- ② 青年・裁判所あるある
- ③ 私のプチ自慢

応募QRコード



●参加（報告）方法

所属支部、氏名、ペンネーム、①～③のテーマを記載のうえ、テーマに合った川柳（五・七・五（十七音）で表現する詩）を適宜の方法で青年協に報告してください。

●応募期限（6月30日〆切）→7月29日まで延長

2021年最優秀賞作品

月収を 超え消すに迷う 印紙額

ペンネーム：えびフライ（和歌山支部）

青年協議会で一次審査を行った上、第32回定期総会において最終審査、表彰を行いますので、奮って参加（報告）をお願いします。

※ 最優秀賞作品には商品を贈呈します。